

CASBEE-広島 2014年版
(仮称)フォルクスワーゲン広島平和大通り

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境								2.8
1 音環境		2.6	0.15	-	-			2.6
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.68	-	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.32	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-			
1.3 吸音		1.0	0.20	-	-			
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.39	-	-			
2 外皮性能		3.0	0.24	-	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.37	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.8	0.25	-	-			2.8
3.1 屋光利用		3.0	0.34	-	-			
1 屋光率		-	-	-	-			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 屋光利用設備		3.0	1.00	-	-			
3.2 グレア対策		2.0	0.24	-	-			
1 屋光制御		2.0	1.00	-	-			
3.3 照度	全般照明方式を採用	4.0	0.12	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.30	-	-			
4 空気質環境		3.1	0.25	-	-			3.1
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.2	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.36	-	-			
2 自然換気性能		3.0	0.27	-	-			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.36	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御	ビル全体を禁煙とし、喫煙ブースを設置する。	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.0
1 機能性		2.5	0.40	-	-			2.5
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.37	-	-			
3 バリアフリー計画		1.0	0.63	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	事務室の天井高2.7m以上とする。	4.0	0.33	-	-			
2 リフレッシュスペース	事務所+オフィス=118.02㎡ 休憩スペース=26.14㎡	4.0	0.33	-	-			
3 内装計画	VWマニアルに基づき、建物全体・内装計画を実施	4.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	内装・外装共に防汚性の高い素材を使用、極力段差のない設計	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用とす	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.7	0.30	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	1F 3.800m 2~3F 3.800m 4F 5.500m	4.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	4F 外周壁の長さ=902.123 専有面積=894.78 壁長さ比率=1.0082	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		荷重=3500N/㎡	4.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	PSを各所に配置 配管による施工	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	PSを各所に配置 配管による施工	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.35	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		景観計画重点地区(平和大通り沿道地区) 協議済	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			1.0	0.10	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.11	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.89 住宅(専有部) -	4.0	0.56	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		第三種換気設備を採用	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			2.0	0.23	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が分別可能、内装材と設備が錯綜していない	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.20	-	-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.70	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤を使用しない	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		2.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率 91%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止		燃焼器具を使用しない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車スペースの確保	4.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.3	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制	準住居地域の日影規制を満たしている	4.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストを過半を満たしている	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE-広島 2014年版
(仮称)フォルクスワーゲン広島平和大通り

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-広島 2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境			0.35					2.8
1 音環境		2.6	0.15	-	-			2.6
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.68	-	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.32	-	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-			
1.3 吸音		1.0	0.20	-	-			
2 温熱環境		2.6	0.35	-	-			2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.39	-	-			
2 外皮性能		3.0	0.24	-	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.37	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-			
3 光・視環境		2.8	0.25	-	-			2.8
3.1 昼光利用		3.0	0.34	-	-			
1 昼光率		-	-	-	-			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 昼光利用設備		3.0	1.00	-	-			
3.2 グレア対策		2.0	0.24	-	-			
1 昼光制御		2.0	1.00	-	-			
3.3 照度	全般照明方式を採用	4.0	0.12	-	-			
3.4 照明制御		3.0	0.30	-	-			
4 空気質環境		3.1	0.25	-	-			3.1
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		2.2	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.36	-	-			
2 自然換気性能		3.0	0.27	-	-			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.36	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御	ビル全体を禁煙とし、喫煙ブースを設置する。	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能			0.30					3.0
1 機能性		2.5	0.40	-	-			2.5
1.1 機能性・使いやすさ		1.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.37	-	-			
3 バリアフリー計画		1.0	0.63	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	事務室の天井高2.7m以上とする。	4.0	0.33	-	-			
2 リフレッシュスペース	事務所+オフィス=118.02㎡ 休憩スペース=26.14㎡	4.0	0.33	-	-			
3 内装計画	VWマニアルに基づき、建物全体・内装計画を実施	4.0	0.33	-	-			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	内装・外装共に防汚性の高い素材を使用、極力段差のない設計	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30	-	-			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用とす	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性			2.8	0.20	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.7	0.30	-	-	3.7
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	1F 3.800m 2~3F 3.800m 4F 5.500m	4.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	4F 外周壁の長さ=902.123 専有面積=894.78 壁長さ比率=1.0082	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		荷重=3500N/㎡	4.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	PSを各所に配置 配管による施工	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	PSを各所に配置 配管による施工	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.35	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		景観計画重点地区(平和大通り沿道地区) 協議済	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1 建物外皮の熱負荷抑制			1.0	0.10	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.11	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.89 住宅(専有部) -	4.0	0.56	-	-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		第三種換気設備を採用	4.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用			2.0	0.23	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が分別可能、内装材と設備が錯綜していない	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.20	-	-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.70	-	-	
1	消火剤	ハロン消火剤を使用しない	-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		2.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率 91%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止		燃焼器具を使用しない	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車スペースの確保	4.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.3	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制	準住居地域の日影規制を満たしている	4.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」のチェックリストを過半を満たしている	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	